



並木中等story

令和4年4月6日号

4月6日に実施した始業式の校長挨拶の抜粋です。

●今日の本題です。3月25日に本校は第3期のSSH指定校の再指定を受けました。これで、令和8年度まで指定が延長されたことになります。第3期のテーマは「世界をリードする理数系イノベーション人材の育成」です。イノベーション人材とはどのような人か。それは新しい発見ができるリーダーです。今の日本の実力をみてください。経済の統計を見ると多くの国に抜かれていることに気付くでしょう。日本は資源が少ない国で、これまでは機械等の輸出で国力を維持してきました。それが危うくなっているのです。そのようなこともあり、新しい発見ができるリーダーが必要なのです。

●では、リーダーはどのような資質を身に付けたらよいのか。SSH運営指導委員の先生方と話をしました。そこでの答えは対話力と失敗を乗り越える力、勇気でした。

●ここでいう対話とはどのような対話か。リーダーを育てる対話はただのお話し会ではダメです。発展がなければいけません。また、一人のリーダーが自らの考えでそのグループを引っ張っているだけではいけません。それはなぜか。それでは、そのグループは、リーダーが持っている力以上のものを発揮できないからです。カリスマリーダーのもとでは、はじめは順調でも、その後、停滞するといわれています。それは、リーダーの発想が止まったら終わりだからです。理想とする話合いは、A案がでたら、A案を否定したり、対立したりする意見が出る。さらに、異なる見方のB案が出され、みんなで検討できるものです。弁証法的対話といいます。これを繰り返し、高度なC案、D案が出てくると最高です。グループの構成員がそれぞれの得意分野で意見を出す。それをみんながリスペクト（尊敬）できる、そのような話合いを期待します。

●もう一つが失敗を乗り越える力です。成功は失敗なしに成し遂げられません。皆さんの中で「失敗は許されない。」と思っている人はいませんか。生死に関わるものは別ですが、普通の失敗は大丈夫です。何度、失敗しても立ち上がる勇気が大切なのです。七転八起です。失敗をしても、反省し、次に結びつけば失敗は取り消しです。

本当の失敗は反省せず、同じ失敗を繰り返し続けることです。“今度は別の形に変えよう”“別の言い方に変えよう”など、工夫をし続けなければならないのです。失敗、反省、試行錯誤が成功や新しい発見を生みます。皆さんにはSSHの3期でこのことを学んでもらいたいと思っています。令和4年度が始まりました。すべての皆さんの学びが広く深くなることを期待しています。